

東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	家庭	科目：	保育基礎	単位数：	2	指導学年：	3
使用教科書	保育基礎（教育図書）		副教材				

年間指導目標：

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達や生活の特徴、保育、福祉や文化などについての知識を体系的・系統的に身につけている。 子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを取り巻く課題を見つけ、保育を担う職業人の視点から合理的かつ創造的に解決するために、思考を深め、適切な判断や工夫、表現をする力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達や保育にかかわる職業について関心を持ち、地域の保育や子育て支援を通じて子どもの健やかな発達に寄与しようとする意欲的な態度を身につけている。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	評価方法					配当 時数
					a	b	c	d	e	
1 学期	中間 考査	1章子どもにかかわる職業を知ろう！ ① 保育の意義② 保育の環境③ 保育の方法	(知)	・さまざまな職業が子どもや保育に直接的・間接的にかかわっており、子どもの健やかな発達に寄与していることを理解している。		○	○	○		12
			(思)	・自分の将来における子どもへのかかわりについて、職業や、かかわる内容、子どもの保育の特徴や、保育者に求められる姿勢などについて要点をまとめることができる。		○		○		
			(態)	・子どもにかかわる職業について関心を持ち、自身が希望する職業に就くために必要なことを調べるなど、情報を収集・整理しようとしている。		○		○	○	
1 学期	期末 考査	2章 章末 保育の課題に取り組もう！① ① 子どもの発達の特性 ② 乳幼児の発育と発達 章末 保育の課題に取り組もう！② ① 子どもの健康と生活② 子どもの食事	(知)	・子どもの発達の共通性・個別性について理解している。・子どもの発達は、身体の発育と心や身体の機能の発達が相互に関連してなされていくことを理解している。	○	○	○	○		12
			(思)	・母子健康手帳などの資料を見ながら、発達の各側面が相互に関連し合っていることを読み取り、具体的に考察することができる。		○		○		
			(態)	・自身が保育者になることを想像しながら、子どもにとって適切な保育を行うためにかかわり方を工夫するなど、積極的に取り組む姿勢が見られる。		○		○	○	

2 学期	中間 考 査	3、4章 ③ 子どもの衣服と寝具 ④ 子どもの健康と安全 章末 保育の課題に取り組もう！③	(知)	・乳幼児の発達や生活の特徴から、適切な衣服・寝具の状態について理解する。 ・子どもの衣生活を支える着替えや衣服づくりの仕方を理解し、基礎的な技術を身につけている。	○	○	○	○	16
			(思)	・子どもが快適で安全な衣生活を送るために、衣服選びや着せ方をどう工夫するべきかなど、自分の考えをまとめたり、発表したりすることができる。		○		○	
			(態)	・子どもの着替えやおむつ替えなどをする際にご自分のようにかかわるかなど、自分が保育者や親になったときを想像し、自分ごととして捉えようとしている。		○		○	
2 学期	期 末 考 査	① 保育にみる児童観 ② 児童福祉の理念と法規・制度 章末 保育の課題に取り組もう！④	(知)	・世界・日本の児童観や子どもの福祉の変遷の歴史が、現代のさまざまな法律や制度に生かされていることを理解している。 ・児童福祉の理念と特徴、法律や制度、福祉にか		○	○	○	16
			(思)	・児童虐待や貧困など、具体的な問題を通じて子どもの福祉の必要性を考察し、自分の考えをまとめたり発表したりすることができる。		○		○	
			(態)	・自身が保育者になることを想像しながら、子どもや保護者を支えることを目標にして積極的に支援策を考えようとしている。		○		○	
3 学期	学 年 末 考 査	5章 ① 子どもの文化の意義③ 子どもと遊び④ 子どもの表現活動章末 保育の課題に取り組もう！⑤	(知)	・子どもの文化やそれを支える場の役割や意義を理解している。	○	○	○	○	22
			(思)	・子どもの文化の現状を捉え、今後の課題について考察することができる。		○		○	
			(態)	・身近な地域の遊びについて関心を持ち、公園などの利用状況や、遊び場を支えるNPO法人などの活動について積極的に調べようとしている。		○		○	
合計									78